

財団法人まちみらい千代田
平成19年度第2回理事会議事録

1 日 時

平成19年10月30日（水） 午前10時から10時37分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア5階504～506会議室(千代田区神田錦町3-21)

3 理事現在数 15名

4 出席者

(1) 出席者（9名）

長田貴雄、川崎侑孝、櫻井和博、高木茂、高橋陽子、中島典夫、野口秀人、
林勇、堀田康彦

(2) 委任状提出者（6名）

大西清治、大橋重男、北澤悦子、河野悟、小嶋勝衛、師岡文男

5 議 題

(1) 議案第1号 財団法人まちみらい千代田評議員の選任について

(2) 議案第2号 平成19年度財団法人まちみらい千代田一般会計収支補正予算(案)
について

(3) 報告事項

① 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

1) 江戸天下祭の実施報告について

(4) その他

6 開会、議事録署名人の選任

長田理事長より、平成19年度に入り半年が経過したが、マンション居住、情報基盤の整備、区から移管された商工振興関連など、着実に事業を進めている。中でも10月29、30日に開催された江戸天下祭で事務局を努め、財団を挙げて総動員で対応した。今回は宵宮や朝鮮通信使の参加、太田道灌の記念行事等があり従来にない行事を企画し、一応の成功裏に終わることが出来た。

また平成20年度予算編成にあたっては、選択と集中を基本スタンスとして予算編成を行っている。さらに、その事業内容に合わせて千代田区観光協会との連携のあり方や人事異動等を考慮した、組織の見直しを考えていることなどを伝える旨の挨拶があ

った。

その後、事務局から寄附行為第26条の規定により、議長には理事長が当たることになっている旨を伝え、長田理事長が議長に就き、開会を宣言した。

議長は、定足数について、事務局に出席者の報告をさせ、寄附行為第27条の規程に定める定足数を満たしていることを確認し、理事会が有効に成立している旨を報告した。

引き続いて、本理事会の議事録署名人として、高橋陽子理事と野口秀人理事の2名を指名したい旨を諮ったところ、満場一致の賛成があったので、両理事を指名し、本人もこれを承諾した。よって、議案の審議に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案第1号 財団法人まちみらい千代田評議員の選任について

事務局から、評議員辞任の申し出があった露崎昌枝氏と矢部一憲氏の後任としてちよだ女性団体連絡会会長の鏑木美知子氏と、千代田区商工業連合会会長の米倉伸三氏を、それぞれ評議員候補者として、寄附行為第31条の規程に基づき提案する旨の説明があり、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(2) 議案第2号 平成19年度財団法人まちみらい千代田一般会計収支補正予算(案)について

配布資料に基づき、事務局から次のような説明を行った。

平成19年6月5日付で、千代田区より姉妹都市交流事業の住民交流助成事業が財団法人まちみらい千代田に移管された。これに対応するために、収入・支出予算を補正するものである。

この理由により、一般会計収支補正予算を提案したい旨の説明があり、出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(3) 報告事項 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

① 江戸天下祭の実施報告について

江戸天下祭実行委員長でもある川崎副理事長より10月29日、30日に行われた江戸天下祭についての報告があった。今年で江戸天下祭は3回目ということで、地方の方や区民の方からの要請により宵宮を行った。順行の見学者は10万人程度で、6千人が参列に加わった。朝鮮通信使が日本を訪れて400年を迎えたことを記念して、順行に参列した朝鮮通信使は見学者から大きな注目を集めた。時間内に終わることが出来たが、順行の最後には見学者が少なくなってしまうことは今後の課題と考えているとの説明をおこなった。

また、付帯イベントでは江戸城築城550年を記念して太田道灌のシンポジウム、朝鮮通信使シンポジウム、江戸城登城ウォーク、大江戸フットサルフェスティバル、千代田区皇居ロードレース大会を江戸天下祭にあわせて実施した。特に朝鮮通信使シンポジウムでは2000人の方に参加し、大きな成果があったように思う。

区商連がエコバックを販売したり、専門学校の学生がアートギャラリーを使って作品展示をしたりと、様々な催しを実施した。

今回は雨天のため来場者数が大幅に減ってしまったことを踏まえ、新しい文化の創造に向け、次回の江戸天下祭はどのようにするかを考えて行きたい旨の説明をおこなった。

なおその際、次のような質疑応答や意見があった。

- 宵宮は新しい試みで良いが、以前のように昼のほうが良いのではないか。宵宮については議論してほしい。

(事務局)

パレードの順番や組合せは確かに検討すべきである。千代田区の区民としては一番見たいのは山車ではないのか。宵宮においても、千代田区の仲通という場所で行うには、問題点が多い。個々の運営委員会に今回の状況報告をしたうえで、改めて江戸天下祭の方向性を話し合っ行ってほしい。

また、千代田区観光協会が今後中心となって運営していくという話もあり、この祭りを千代田区の観光の目玉にして行きたいとも考えている。

- パレードが非常に間延びしてしまったため、日が暮れるにつれ、観客数がかなり減ってしまった。客を主にして考えていくべき。また、宵宮は難しいようにおもう。演出する側に問題があったのではないか。どうやったらスムーズにパレードが進むかを、もっと考えるべきであった。

(事務局)

確かに民謡流し踊りなどは、ほとんど前に進まないような踊りであった。民謡連盟などともっと話し合いをすべきであった。

- 丸の内仲通り近辺など地元の企業などの参加はあったのか。地元企業がPRする場所はあるのか。

(事務局)

大丸有エリアマネジメント協会の方々などには、いろんな面で協力をしてもらった。さらにボランティアに関しては、色々な形で参加していただいている。企業のPRの場については今後の課題としていきたい。

○ ぜひ地元企業で働いている方に神輿を担いでもらうなど、地域の活動に参加してもらいたい。

(4) その他

事務局から次回の理事会は、平成20年の2月ないし3月に開催を予定していることを伝えた。

8 閉会

以上をもってすべての議題の審議を終了したので、午前10時37分に議長は閉会を宣言し、解散した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

平成19年10月30日

財団法人まちみらい千代田
平成19年度第2回理事会

議 長 長 田 貴 雄 ㊟

議事録署名人 野 口 秀 人 ㊟

議事録署名人 高 橋 陽 子 ㊟